

東京キリストの教会 QT シリーズ エフェソシリーズ

第5週 2021年3月15日～3月21日

<3月15日(月) エフェソ5:1-2 (新共同訳)>

1あなたがたは神に愛されている子供ですから、神に**倣う者**となりなさい。2キリストがわたしたちを愛して、御自分を香りのよい供え物、つまり、いけにえとしてわたしたちのために神に献げてくださったように、あなたがたも愛によって歩みなさい。

解説

1節で、パウロは神に倣う者となることを促します。「倣う」という言葉はギリシャ語で μιμητής (mimētēs)、この単語は新約聖書では、おもに「人を見本に従っていく」という意味合いで使われていることが多いです。(1コリ4:16ではパウロに倣って、1テサロニケ2:14では諸教会に倣う者、ヘブライ6:12では約束されたものを受け継ぐ人たちを見倣う者。)「神」に倣う者となりなさいと書かれている箇所はエフェソだけです。私たちは恵みによって「神に愛されている子供」です。天の父である神様に倣い、そしてイエスを献げてくださった神様に倣って、愛によって歩んでいきましょう。

質問・実践

①聖書にでてくる神に倣った人物で、あなたが尊敬し、好きな人は誰ですか。それはなぜですか。

<3月16日(火) エフェソ5:3-7 (新共同訳)>

3あなたがたの間では、聖なる者にふさわしく、みだらなことやいろいろの汚れたこと、あるいは貪欲なことを口にしてはなりません。4卑わいな言葉や愚かな話、下品な冗談もふさわしいものではありません。それよりも、感謝を表しなさい。5すべてみだらな者、汚れた者、また貪欲な者、つまり、偶像礼拝者は、キリストと神との国を受け継ぐことはできません。このことをよくわきまえなさい。

6むなしい言葉に惑わされてはなりません。これらの行いのゆえに、神の怒りは不従順な者たちに下るのです。7だから、彼らの仲間に入れられないようにしなさい。

解説

ここでパウロは、みだらなことや汚れではなく、聖なる者にふさわしく弟子人生を生きていくことを促しています。「いろいろの汚れたこと」はギリシャ語で $\pi o\rho\nu\varepsilon\acute{\iota}\alpha$ (poraneia) 「不品行」という意味があります。モラルの低い社会の中で生きる弟子たちにとって、「不品行」の罪を犯す危険性があることを、パウロは理解していました。ここでパウロは、「肉体における生活は霊的生活にまったく影響がない」と主張していた、初期グノーシス派の人たちの影響を考えて、この文を書いたと言われています。しかし初期グノーシス派の主張を、パウロは6節で「むなしい言葉」と表現しています。このような偶像礼拝者は、神の国を受け継ぐことはできません。

質問・実践

①NIV 訳では there must not be even a hint of sexual immorality、「不品行」のヒントになることさえしてはいけないと書いてあります。あなたの生活の中で、「不品行」のヒントになるような行動や態度はありますか（仕事場、学校、男女関係）。もしそのような罪に心あたりがあれば、兄弟姉妹に告白してください。聖なる者にふさわしい悔い改めをしましょう。

<3月17日(水) エフェソ 5:8-14 (新共同訳) >

8あなたがたは、以前には暗闇でしたが、今は主に結ばれて、光となっています。光の子として歩みなさい。9——光から、あらゆる善意と正義と真実とが生じるのです。——10何が主に喜ばれるかを吟味しなさい。11 実を結ばない暗闇の業に加わらないで、むしろ、それを明るみに出しなさい。12 彼らがひそかに行っているのは、口にすることも恥ずかしいことなのです。13しかし、すべてのものは光にさらされて、明らかにされます。14明らかにされるものはみな、光となるのです。それで、こう言われています。

「眠りにについている者、起きよ。

死者の中から立ち上がれ。

そうすれば、キリストはあなたを照らされる。」

解説

パウロはここで、「主に結ばれた」新しい生き方を促しています。神様は光で、私たちに「光の子」として歩むことを期待されています。14節の「眠りから起きること」「死者の中から立ち上がること」は、キリストの復活に預かり、メタノイアを通してキリストに照らされると励ましています。

質問・実践

- ①キリストの善意、誠意、真実で、思い浮かべる聖書の箇所はありますか。
- ②「光の子」として、あなたの模範となっている兄弟姉妹はいますか。あなたにとって、その人の何が光でしょう。

<3月18日(木) エフェソ 5:3-7 (新共同訳) >

15 愚かな者としてではなく、賢い者として、細かく気を配って歩みなさい。16 時をよく用いなさい。今は悪い時代なのです。17 だから、無分別な者とならず、主の御心が何であるかを悟りなさい。18 酒に酔いしれてはなりません。それは身を持ち崩すもとです。むしろ、**霊に満たされ**、19 詩編と賛歌と霊的な歌によって語り合い、主に向かって心からほめ歌いなさい。20 そして、いつも、あらゆることについて、わたしたちの主イエス・キリストの名により、父である神に感謝しなさい。

解説

私たちがバプテスマを受けた時に、神様からの賜物として宿る聖霊をいただきました。お酒に酔ってしまうと、お酒の力に私たちの心と思い、また生活が支配されてしまいます。お酒に頼るのではなく、神様の霊の力に支配される生き方こそが、聖なる者の生き方です。詩編や讚美歌を歌うことによって、聖霊とより一致した心を持つことができます。そしてどんな時でも、難しいことを含め、あらゆることについて神様に感謝することを忘れないようにしましょう。

質問・実践

- ①どこか一人になれる場所を探し、可能であれば声を出して、好きな詩編を朗読しましょう。または好きな讚美歌を歌いましょう。

<3月19日(金) エフェソ 5:3-7 (新共同訳) >

21 キリストに対する畏れをもって、**互いに仕え合いなさい**。22 妻たちよ、主に仕えるように、自分の夫に仕えなさい。23 キリストが教会の頭であり、自らその体の救い主であるように、夫は妻の頭だからです。24 また、教会がキリストに仕えるように、妻もすべての面で夫に仕えるべきです。

解説

ここから具体的に夫婦関係についての教えがあります。その土台はキリストとの関係にあり、あらゆる人間関係において、役立つ基礎的なことが紹介されます。21 節の「互いに仕え合いなさい」は、ギリシャ語では *ὑποτάσσω*(フポタソ)、という言葉、服従する又は従うと意味します。クリスチャンにとって、全ての人との関係のスタートは、キリストを畏れ敬い、キリストに服従することから始まります。世の中の関係では、目上の人や権力のある人に服従することが一般的です。しかし弟子にとっては、キリストが主であるからこそ、完璧ではない夫や指導者に服従することができます。なぜなら、キリストを畏れ敬い、信頼することが、聖書的従順の鍵だからです。

質問・実践

- ①あなたは、キリストの何を畏れ敬っていますか。
- ②過去、弟子として難しい関係があった時、キリストに服従する心から、相手に仕えることができた経験はありましたか。その時、どのように神様はあなたを祝福されましたか。

<3月20日(土) エフェソ 5:25-30 (新共同訳) >

25 夫たちよ、キリストが教会を愛し、教会のために御自分をお与えになったように、妻を愛しなさい。26 キリストがそうなされたのは、言葉を伴う水の洗いによって、教会を清めて聖なるものとし、27 しみやしわやそのたぐいのものは何一つない、聖なる、汚れのない、栄光に輝く教会を御自分の前に立たせるためでした。28 そのように夫も、自分の体のように妻を愛さなくてはなりません。妻を愛する人は、自分自身を愛しているのです。29 わが身を憎んだ者は一人もおらず、かえって、キリストが教会になされたように、わが身を養い、いたわるものです。30 わたしたちは、キリストの体の一部なのです。

解説

パウロはここで、愛の基準は、「キリストが教会を愛し、教会のために御自分をお与えになった」ように、愛することだと教えています。キリストは、教会をご自身の花嫁として御前に立たせることを、最大の喜びとしています。私たちがバプテスマを受けた時に、罪人の私たちを「聖なる者」「汚れのない者」としてくださった、キリストの愛を覚えましょう。

質問・実践

①キリストにとって、教会はご自分の体をあらわしています。今日、私たちはキリストの体の一部として、地方教会の兄弟姉妹に、励まし、または感謝のメッセージを送りましょう。

<3月21日(日) エフェソ 5:31-33 (新共同訳) >

31「それゆえ、人は父と母を離れてその妻と結ばれ、二人は一体となる。」 32この神祕は偉大です。わたしは、キリストと教会について述べているのです。 33いずれにせよ、あなたがたも、それぞれ、妻を自分のように愛しなさい。妻は夫を敬いなさい。

解説

31節は、創世記2章24節を引用して、夫婦関係について言及しています。キリストと教会は一体です。そのように夫婦も愛し合うように命じられています。

質問・実践

①いろいろな関係を考える時、そこに「キリストと教会」があらわれていますか。自分自身は、どのように変えられたらいいでしょうか。既婚者の方は特に、自分たちの夫婦関係を吟味してみましょう。